

「ボーナスカット裁判に勝利しよう！」 #21

9月23日に開催された証人尋問の報告(抜粋) . . . <第五弾>

管理者は隠れて社員を監視しない!?

増田助役は、『検修庫内の柱やゴミ箱の陰に隠れて、作業者にわからないように監視していることを背面点検というのではないか』の問いに対して、『背面点検は知らない。検修庫内を巡回してたまたまそのタイミングでそういうふうに見えるのではないか。管理者は隠れて点検はしない』と答え、傍聴席からは失笑が漏れました。

成田：隠れているだとかいうことは管理者はしないと。

増田：はい、そのようなことはしません。

成田：たまたまいたのが、その柱の陰だったと。ゴミ箱の裏にしゃがんでいたとか。

増田：しゃがむとか、私は見たこともありません。

成田：そういうことじゃなくて、(管理者は)社員が知らないように監視するようなことはないということですか。

増田：はい、社員をそんな、隠れて監視するようなことはしません。

チェックシートは抜けがないことだけを確認?!

チェックシートの中の「損品及び工具の忘れ物はないか」と「作業者は最終確認をしたか」の記載漏れに対して、管理者の誤った指導によって『9時30分』と『11時30分』と記載させていたことが判明しました。このような2時間の差はありえないことです。チェックシートは安全確保のために重要であるとして、カット理由にされてきましたが、本当は抜けがなく埋まっていればよいだけということなのではないでしょうか。

成田：これまで2時間の差があることについて、あなたはどう思いますか。

増田：時間の差 . . . やっぱり、すぐ確認するのが正しい確認だとは思いますが。

成田：あなたなら、そういう指導をしますか。

増田：はい。すると思いますが、この状況が今ちょっと分からないので、詳しくは回答できません。

成田：するというのは、あまり時間の差がないようなチェックですよ、ということをご指導するということですか。

増田：いや、この時間の差までは詳しくは分わからないのですが、抜け等のないことを確認しています。

成田：抜けたのがないことだけを確認すると。

増田：ないことだけでなく、抜け等がないことを確認します。

次回からいよいよ渡辺助役が登場します。乞うご期待!!